

かたかなで かく ことばを れんしゅうしましょう。



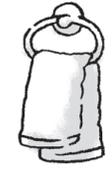
め
ろ
ん



く
ら
す



ま
ん
と



た
お
る



こ
あ
ら



ま
す
く



て
に
す



な
い
ふ



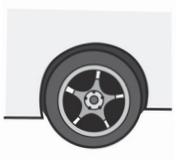
み
し
ん



さ
ん
た



れ
も
ん



た
い
や



れ
た
す



み
る
く

おうちのかたへ

濁音や促音のない、清音のみで構成されるかたかなの言葉です。おもに外来語や外国の国名のほか、擬音語・擬態語など、どのような場合にかたかなを使うかも例を挙げて教えてください。

陰山英男の
毎朝プリント

こくご

なまえ

「ご」をおと、はじけるおと(かたかな)

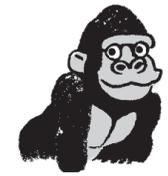
が 月 日

KG-022

かたかなも、にごる おとには もじの みぎうえに「ご」をつけます。



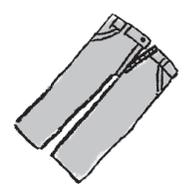
ば
れ
え



ご
り
ら



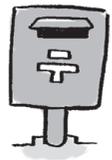
べ
ん
ち



ず
ぼ
ん



ぼ
う
る



ぽ
す
と



ぴ
あ
の



ぺ
ん
き



ぱ
ん
つ



ぱ
ん
だ



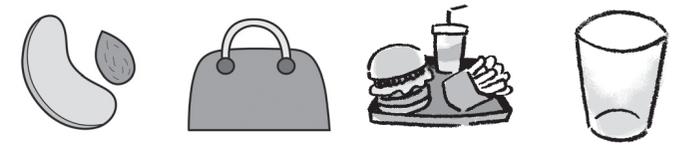
ぷ
り
ん

かたかなも、はじける おとには もじの みぎうえに「ご」をつけます。

おうちのかたへ

濁音や半濁音の混じったかたかな言葉の書き取りです。ひらがなと同じく「ご」をつけて書きます。半濁音は「ピ」「ポ」しかありません。

つまるおとは、ちいさい「ッ」を
 みぎうえにかきます。



な		ば	せ	
つ		つ	つ	
つ		ぐ	と	

ただし、よこに かくばあいは、
 ちいさい「ッ」を ひだりしたに かきます。

こ ろ っ け



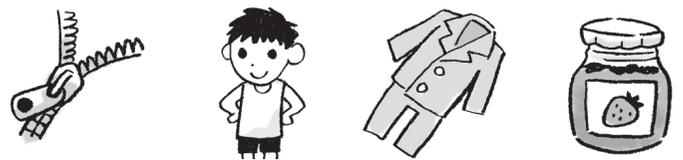
--	--	--	--	--

ば す け っ と



--	--	--	--	--	--	--	--

ねじれる おとは、ちいさい「ヤ」「ユ」「ヨ」を
 みぎうえにかきます。



ち		し	ぱ	じ
や		や	じ	や
つ		つ	や	む
く			ま	

ただし、よこに かくばあいは、ちいさい「ヤ」
 「ユ」「ヨ」を ひだりしたに かきます。

じ ゃ ん ぶ



--	--	--	--	--	--	--	--

り ゆ っ く さ っ く



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

おうち
 のかたへ

横書きにする場合、促音、拗音とも小さな「ッ」「ヤ」「ユ」「ヨ」は左下に書きます。拗音と促音が混じる言葉はくり返し練習して使い方を覚えさせましょう。

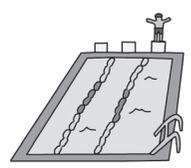
のばす おとは、
 「一」を たてむきに かきます。



は あ と



か ぬ う



ぶ う る

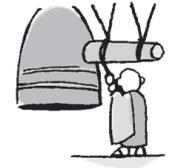
もののおとなども
 かたかなで
 かきます。



か ー ん



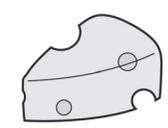
き ー ん



ご ー ん

よこに かくばあいは、
 「一」を よこむきに かきます。

ち い ず



げ え む



ざ ー ざ ー



に や ー に や ー



おうち
 のかたへ

かたかなで、前の音をのばして発音する言葉は長音符「ー」を使います。縦書きの場合は縦の線を、横書きの場合は横の線を、ます目の中心に書くように練習させてください。

陰山英男の
毎朝プリント
 ●こくご●
 なまえ
 ひらがなの ふくしゅう
 がつ 日
 KG-025

えに あうように、ことばを かきましよう。



なわ



し



はく



か



て



お



や



ぶ



せん
 えん



せん



かき



ち

おうちのかたへ

濁音・半濁音・促音・拗音・長音を含むひらがなの復習です。難しいようならKG-004からKG-006をもう一度練習させてください。

ただしい かきかたに なるように、どちらかを えらんで かに かきましよう。



お・を

ゆめ

みた。



お・を

かお

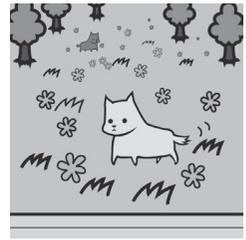
あらう。



わ・は

はは

はやおき。



わ・は

にわ

ひろい。



え・へ

えき

いく。



え・へ

まえ

すすむ。

おうちのかたへ

「お」と「を」、「わ」と「は」、「え」と「へ」の使い分けです。他の言葉にくっついて使うときは、「を」「は」「え」と書くことを教えてください。

に「を」「は」「へ」のどれかをかいて、ただしいぶんにしませう。

みず

のむ。

これ

えほんです。

とおく

いく。

ノート

かう。

うさぎ

かわいい。

ねこ

ねずみ

とる。

きょう

こうえん

いく。

とり

そら

とび。

おうち
 のかたへ

「を」「は」「へ」の3つの助詞を使い分ける練習です。「は」は何についての文であるかを示す助詞。「へ」は目的や方向を、「を」は目的のほか、場所や期間を示す助詞です。

「を」「は」「へ」のどれかを つかかって、ふたつの ことばを つなぎ、ぶんをつくりましょう。ぶんの おわりには かならず 「を かきましよう。ぶんを

れい

ケーキ
 たべる

ケーキを たべる。

①

うみ
 いく

②

せんせい
 やさしい

③

さかな
 つる

おうちのかたへ
 適切な助詞を使い2つの言葉を正しくつなぐことは、文を書く基本になります。何度もくり返し練習して、「を」「は」「へ」それぞれの使い方を感覚的に会得することが大切です。

に「が」「に」のどちらかを かいて、ただしい ぶんを しましょう。

ごはん
 おいしい。

ノート
 かく。

おなか
 いたい。

ちち
 かいしや
 いく。

「が」「に」の どちらかを つかって、ふたつの ことばを つなぎ、ぶんを つくりましょう。ぶんの おわりには かならず 「。」を かきましよう。

れい
 さくら
 さいた
 さくらが さいた。

①
 おきる
 ろじ

②
 せみ
 なく

おうち
 のかたへ
 「が」は、おもに動作・状態の主体になることを示す助詞、「に」は場所や目的、結果などを示す助詞です。ほかにも「わたし」の「(学校)で」など、よく使う助詞を短い文を書きながら教えてください。